Ⅳ　環境負荷の低減に配慮した取組（CO2 排出原単位の改善率）

目標値の設定（過去の実績値の報告）

	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	平成 28 年度から令和元年度までの平均値（注 13）	目標値（左記平均値×99%）
①製油所 CO2 排出量　千トン						
②標準エネルギー使用量　百万 Btu（注 14）						
CO2 排出原単位（注 15）（①×1000/②）　トン CO2/百万 Btu						

（注 13）平成 28 年度から令和元年度までの平均値は、各年度の CO2 排出原単位の単純平均とする。
（注 14）Btu とは、英熱量のこと（1 英熱量＝1055.06 ジュール）。
（注 15）CO2 原単位は少数 5 桁目を四捨五入処理すること。

実績値の報告

	令和 6 年度	令和 7 年度	令和 8 年度	令和 9 年度	令和 10 年度	令和 6 年度から令和 10 年度までの平均値（注 16）
③製油所 CO2 排出量　千トン						
④標準エネルギー使用量　百万 Btu（注 17）						
CO2 排出原単位（注 18）（③×1000/④）　トン CO2/百万 Btu						

（注 16）令和 6 年度から令和 10 年度までの平均値は、各年度の CO2 排出原単位の単純平均とする。
（注 17）Btu とは、英熱量のこと（1 英熱量＝1055.06 ジュール）。
（注 18）CO2 原単位は少数 5 桁目を四捨五入処理すること。

（備考）
1　用紙の大きさは、日本産業規格Ａ4 とすること。
2　文字は、かい書でインキ、タイプによる印字等により明確に記入すること。
3　各項目について、欄が不足する場合は、必要に応じて欄を追加して、記載すること。